

1 本校の教育目標

未来に生きる 人間性豊かな生徒の育成

1. 自ら進んで学び、考える生徒(知性)
2. 豊かな情操をもち、思いやりのある生徒(情意)
3. 強い意志をもち、粘り強い生徒(意志)
4. 心身ともに健康で、実践力のある生徒(体力)



「未来に生きる」

現代社会は、変化の激しい時代である。「未来に生きる」とは社会の変化に自ら対応するとともに、新しい文化を創造したくましく生き抜くことである。

そのためには、「生きる力」をはぐくむ教育実践が大切であり、基礎・基本の内容や生徒の個性を重視し、社会に開かれた教育課程を通して「自分で課題を見付け、自ら学び考え、主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」の育成が重要である。

「人間性豊かな」

心の豊かさは未来を拓く基盤である。生きることの意欲や喜び、そして日々の生活の中に充実感をもつことによってはぐくまれる。

そのためには、良好な人間関係、自然に接する体験、美しいものに感動する体験、成就感や満足感などをもたせることが大切である。

<目指す生徒像> (◎＝本年度の最重点)

○自ら進んで学び、考える生徒(知性)

自ら課題をもち、進んで新しい考えや方法を工夫し、粘り強く解決していく思考力、判断力を養うとともに、自信をもって表現できる生徒を育てる。

○豊かな情操をもち、思いやりのある生徒(情意)

相手の気持ちや立場を理解し、自分と異なるものを認め励まし合い思いやる思考・判断力を養うとともに、自信をもって行動できる生徒を育てる。

◎強い意志をもち、粘り強い生徒(意志)

自律心をもち、自分を客観的に見詰め生活を律し、学ぶ気持ちと努力して培った礼節こそが大切であるとの強い意志をもって、定めた目標に粘り強く挑戦する生徒を育てる。

○心身ともに健康で、実践力のある生徒(体力)

生命を尊び、困難なことに耐え得る体力と精神力を養うための知識を理解し、一生涯健康で豊かな人生を送るために見通しをもって日々行動実践できる生徒を育てる。

【生徒の合い言葉】 『燃えよう』 『流そう』 『輝こう』

2 本校教育推進の基本方針

■生徒にとって「学びがい」のある学校

日々の教育活動において、生徒が学ぶ喜びを実感でき、確かな学力や豊かな心などの「生きる力」を確実に身に付けられる教育を推進する学校。

■教職員にとって「働きがい」のある学校

教職員一人一人の資質能力の向上はもとより、業務の質を高め、勤務時間にゆとりを生み出す工夫を加えることにより、目標実現のために全教職員が心身共に健康で参画・協働し、生徒のために活力ある教育力を発揮できる学校。

■家庭・地域にとって「頼りがい」のある学校

学校が教育の責任を果たすとともに、家庭や地域の教育力の活用と育成を図り、相互の信頼の絆を深める教育を推進する学校。

3 経営の重点

(1) 協働体制の下、「組織体」として教育目標の具現化を目指す活力ある学校運営

- ・教職員一人一人の特性や経験を生かし、年度の重点目標の達成を目指す組織的な校務運営
- ・組織マネジメントを機能させ、学校改善に結び付ける学校評価システムの点検
- ・タイム・マネジメントとカリキュラム・マネジメントの関連を精査し、よりよい働き方に向けた実効性のある業務改善

(2) 「生きる力」をはぐくむ調和のある教育課程の編成と「カリキュラム・マネジメント」の確立

- ・新学習指導要領に基づく教育課程の適切な編成・実施と不断の検証・改善
- ・心が通い合う温かい人間関係を基盤に、言語活動や体験活動を重視した授業づくり
- ・各教科等の指導内容の重点化を図った指導計画の充実と指導の改善に生かす評価の工夫

(3) 専門性を高め実践的指導力の向上を図る研修の充実

- ・一人一人の資質能力と実践的指導力の向上を図り、授業改善に生かす校内研修の充実
- ・公教育に当たる責任と使命を自覚し、同僚性を基盤に共に学び合い高め合う研修活動
- ・経験や立場などライフステージに応じた各種研修会等への積極的参加と自校への還元

(4) 危機管理意識の高揚と組織的な初期対応の充実

- ・日常に潜む危機の予知・予測と未然防止のための取組や事前指導の充実
- ・組織内の「報・連・相・確」の徹底と迅速で、的確な、誠意ある初期対応
- ・学校安全計画に基づく安全管理や安全指導の推進
- ・服務規律徹底の取組と充実

(5) 個や集団の成長を促す学年・学級経営

- ・生徒の実態や発達段階に即し、指導の重点を明確にした学年・学級経営の充実
- ・一人一人の居場所や存在感を実感させ、生徒相互の人間関係を深める集団活動の充実
- ・共に高め合う活動を通したリーダーとフォロアーの育成

(6) 感性を培う教育環境の整備・充実

- ・潤いと温かさを醸し出す校舎内外の美的環境、学習環境の構成の工夫
- ・教師と生徒が一体となって行う挨拶運動や清掃美化活動の充実
- ・場に応じた言葉遣いや望ましい人間関係をはぐくむ言語環境の整備

(7) 心と体を鍛える部活動の充実

- ・全教職員の理解と協力の下、生徒の心身を鍛え成長を促す部活動の充実
- ・部活動の意義やねらいの達成に向けた諸条件や環境の整備
- ・保護者及び地域の方々の理解と協力を得た開かれた部活動の充実
- ・国や教育委員会の示すガイドラインを踏まえた活動時間の整備

(8) 家庭・地域社会に開かれた学校づくりの推進

- ・地域社会に開かれた学校づくり(コミュニティスクール)を通して、家庭や地域住民、校区小学校等との多様な交流活動、連携活動の推進
- ・家庭との連携による情報モラルの育成や望ましい生活習慣、学習習慣の確立
- ・学校からの積極的な情報の発信と地域の人的・物的環境の効果的な活用

4 指導の重点

(1) 学ぶ意欲を高め、自ら学ぶ習慣を育成する学習指導の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点を生かし、学ぶ楽しさや喜びを実感させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る指導の工夫
- ・T Tや習熟度別指導など個に応じた指導の一層の充実と学び方を育てる指導の工夫
- ・望ましい学習習慣を身に付けさせ家庭学習の習慣化を図る家庭との連携

(2) 他を思いやる心や自律心を育てる道徳教育の充実

- ・教師と生徒、生徒相互の人間関係を深め、体験活動等を生かした心に響く道徳教育の充実
- ・生徒の実態を踏まえた指導項目の重点化と、各教科等との関連を図った指導の工夫
- ・「特別な教科 道徳」の実践と研究をさらに深め、子どもの議論を通じて、いじめはけっして許さない等の他人を尊重し思いやる態度や情報モラルの育成など道徳的実践力をより高める指導と評価の研究推進

(3) 集団活動を通じて感動と連帯感を生み出す特別活動の充実

- ・望ましい人間関係の中で自主的、実践的な態度を育てる学級活動、生徒会活動の工夫
- ・感動と連帯感を味わい、個と集団が共に高め合うことのできる学校行事等の企画推進
- ・話し合い活動の充実やリーダーの育成など質の高い集団づくり

(4) 探究する力を育てる総合的な学習の時間の充実

- ・生徒が主体的に探究しながら学び方やものの考え方を身に付けさせる学習活動の推進
- ・体験的な学習や問題解決的な学習の推進とともに指導体制や学習形態の工夫
- ・学校図書館や教育機器、地域の教育資源や人的・物的環境の積極的な活用

(5) 生徒理解を深め、自己実現を促す生徒指導の充実

- ・共感的な生徒理解を深め、人間的な触れ合いの中で自己をよりよく導く力の育成
- ・学校全体の秩序の確立と安定を図る基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成
- ・全職員による隙間のない指導体制ときめ細かな指導を充実し、いじめの未然防止の徹底

(6) 夢や希望をはぐくむ進路指導の充実

- ・「キャリア教育」の観点から、一人一人が生涯にわたって自己実現を図ろうとする態度の育成
- ・職業体験等を通して働く意義や目的、生き甲斐などを考えさせる指導の充実
- ・3か年を見通した指導計画による主体的な進路選択への指導と援助

(7) 健康でたくましい心身を育てる健康・安全教育の充実

- ・学校保健、学校安全の全体計画に基づく健康・安全意識の高揚と環境の整備
- ・生徒の実態把握に基づく個に応じた指導と全教育活動を通じた体力の向上
- ・食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成に資する計画的な指導継続
- ・SNSや薬物乱用防止等、今日的課題に対する安全意識の高揚と安全確保の指導充実

(8) インクルーシブ教育の理念をもとにした一人一人の個性を伸ばす「特別支援教育」の充実

- ・生徒一人一人の実態や教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を充実するための研修の実施
- ・コーディネーターを中心とした校内体制の整備と全校体制による指導・支援の工夫
- ・家庭、地域、関係機関及び教師間の密接な連携による交流及び共同学習の工夫
(旭川版「すくらむ」の活用促進)